

2月24日に5・4年生トレセン大会の決勝を以て、4種委員会の事業のすべてが終わりました。もう来年度の登録関係の業務にと忙しく動いているのが、現状です。一つの大会が終わるごとに考えますが、大会を成功させるために、大会要綱の配布、参加申し込み、参加費の振込み及び状況、組み合わせ抽選会等様々な大会運営の仕事・係の分担、特に、大会会場のコートの設定・駐車場の管理、試合の運営、審判の割り振り、審判打ち合わせ、選手管理と多くのことがあります。これらの仕事に携わる各郡市協会の役員の方々の協力のお陰で大会が成り立ち、素晴らしい環境を用意できていると考えています。また、協力の賜物と感謝しております。

人は往々にして見えないものには感謝しません。本当に大切なものは目に見えません。選手が良い条件で最高の試合が出来るように多くの人々が協力して準備しています。その準備を当然と考えている選手はいませんか。自分の心の中を覗き、考えてみましょう。多くの人たちのお陰で、豊かで、楽しい生活を送り、サッカーを楽しむことが出来ているのです。

楽しい生活が文化です。また、その豊かさの質が、文化の程度・レベルを表しています。このように考えると文化とは「人の心」でどのように感じるかと言う「受け取り方」「価値の発見」のような気がします。

目に見えない心のあり方が、人の質を表現します。他者の思いやり、やさしさが分かりますか。そして、この考え方が、お互いの心を結びつけ、円環を作っているのです。社会は、正に、支え支えられて成り立っているのです。

先日の5年生トレセンの閉会式で述べましたように「選手のプレーは素晴らしい。」しかし、これからこのプレーを育て成長させていくのは、選手自身の心、考えの深さなのです。そのために見本が必要なのです。「こうしなさい」と言うことではなく、まさに、「大人（親父）の背中」が、見本なのかもしれません。環境としてあることの楽しさ・深さ、価値は素晴らしいものです。しかし、そこにいる選手や子どもたちは、自分と言う性格・育ち・個性を通して環境を理解し、価値付けます。

環境は必ず人と対峙した存在です。環境には、自然としての環境、人としての環境、雰囲気としての環境、時代としての環境もあるでしょうが、様々な環境を「どのように解釈」し、「どのように取り入れ」て、自分を作り上げて行こうとしているのでしょうか。感謝と言う心を通して環境を受け入れているのでしょうか。

環境をどのような気持ちで受け入れるかにより、その環境は様々に見えます。自分の心が様々に考え、観察しているということです。環境は、正に環境としてあるわけであり、人は環境に働きかけ、適応・克服するしかないので。環境は考え方によれば、人の行動を規制し、制約をかけます。そのために、その環境の中に入り、克服しないと環境に適応したことになりません。特に人的な環境は、構成人員により大きく変わります。スポーツをする場合の環境の変化は、主にこの構成人員に影響されます。

環境と言いますとピッチの状況、広さ、何面あるのか、さらに付属の設備としてのトレーニングルーム、体育館、及び宿泊施設、ミーティングルーム等が揃っているかどうかを問題にしますが、それは単なる環境であり、人がどのように組織的・計画的に利用するかにあります。その意味で環境は「ある」のではなく、人と言う環境がどのように働きかけ、素晴らしい環境に作り上げていくかが環境の意味です。

環境を人が利用し、克服することにより「技術を高め」「今ある位置」を克服していくための条件が用意されています。そのため選手は環境を通して自己の充実を図り、レベルアップをしていきます。そしてチームのレベルアップのため、集団としての人的要因や心理面の組み合わせ、更に、個人個人の相性が問題となり、相互に高め合うライバル、援助しあえる仲間として組織化されていくことで、組織が高められます。根底は、個人個人の考え方・生き方が大きく集団のあり方を変えます。そのために個人がどのような考えや生活態度を身に付けているかが選手生活の重要な鍵になります。親の背中を見ても何も感じなければ意味はありません。親の背中から学べる人になっていることです。

学ぶことが出来る人は、どのような環境の中に投げ出されても、その環境を解釈し直すものです。自分にとって、この環境、チームに対して強い意志で対峙していなければなりません。自ら学ぶ力がないと育ちません。

学ぶ力を支えるのが、やってみたいと言う好奇心、真似をする力、模倣する力から興味・関心等、人を「ある目的」に向かわせる基本的な資質が必要なのです。勿論、積極的で勇気を持ってチャレンジし、その奥に「学ぶ、感じる」感覚が研ぎ澄まされます。重要なものを相手から受け取る感覚をどのように開いているかです。まさに感受性・分析力の問題かもしれません。つまり、考え続ける（試す）ことと身体を動かし続ける中にプレーが身に付くもので、常に変革していく精神力が必要になります。一流選手は、一流の生活習慣、態度を

身に付けているものです。

「親の背中」を子どもはどのように感じ、考えているのでしょうか。その背中の向こうに、選手たちの求めるプレーがあります。大人が、子どもに見せられる背中かどうかを考えてみてください。子どもは素晴らしい能力を持っています。親はあれこれ言ったり、考えたりするよりも、自分はこう生きていると言う「自信」と「正義感」を示すことではないでしょうか。態度で示すことが重要なのです。態度で示せる親こそが、子どもを信じている親の姿だと考えます。

#### 【各クラブにお願い】

・昨年の12月24日に、サッカーの遠征帰りの埼玉のクラブチームの5年生の児童が、バスから転落し、死亡した事故のことは、ご存知のことと思いますが、各チーム、大会等に参加する場合どのような手段で会場まで選手を輸送していますか。最近では、駐車スペースが限られていることから、協会では、駐車を制限し、公共交通機関の利用を勧めています。同時に、マナーを守るように指導していますが、守れません。指導者の皆さん、クラブ運営の根幹に関する大きな問題だと思われるので、是非役員会等でこの件について話し合ってください。

・今年度から大会要綱及び大会参加申し込み用紙等の案内の配布は、「平成20年度 第28回 千葉県少年サッカー選手権大会（5年生大会）」- 実施要項- の配布を以て、配布しないことになりました。大会要綱及び大会参加申し込み等については、第4種委員会のホームページをご覧ください、ダウンロードしてください。

大会申し込み等にトラブルが起きないようによろしくお願いします。